

アジア太平洋地域インフラ担当大臣会合

1. 目的

アジア太平洋地域のインフラ担当大臣が一堂に会し、同地域の社会資本のあり方についてトップレベルで意見交換を行う会合。日本の建設省（当時）が提唱して設置し、第1回は APEC（アジア太平洋経済協力会議）大阪開催とタイミングを合わせて 1995 年に日本開催。

2. 本会議の構成国・地域(20ヶ国・地域)

オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、コロンビア、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、シンガポール、タイ、米国、ベトナム

3. 開催国と開催年月

	開催国・都市	開催年月	参加国・地域
第1回	大阪	1995年9月	16ヶ国・地域
第2回	チリ（サンチアゴ）	1997年6月	16ヶ国・地域
第3回	香港	1999年5月	14ヶ国・地域
第4回	インドネシア（バリ）	2003年10月	15ヶ国・地域
第5回	マレーシア（プトラジャヤ）	2005年1月	13ヶ国
第6回	中国（北京）	2007年8月	10ヶ国・地域
第7回	シンガポール	2009年6月	12ヶ国・地域

※ 第9回会合は2011年に香港で開催予定

4. 第8回会合について

時期:2010年10月8日(金) 事務レベル会合

9日(土) 大臣会合

開催地:グランドプリンスホテル赤坂

テーマ:「気候変動と水関連リスクへの対応」